

八重山周辺における風力発電計画

次世代へつなぐ再生可能エネルギー活用。 この事業計画の内容について、 みなさまの疑問や不安にお答えします。

エネルギーは私たちの暮らしにかけがえのないものですが、その中でも安全でクリーンな再生可能エネルギーにはますます注目が集まっています。現在、鹿児島市と薩摩川内市の市境にある八重山を中心に風力発電所設置の準備が進められ、令和8年の運転開始を目指して環境影響評価(環境アセスメント)の評価書の手続きに向けて準備を進めています。今回は、事業の準備状況などについて、鹿児島県を中心にフリーアナウンサーとして活躍されている田上真澄さんが、日本風力エネルギー株式会社 亀岡信行取締役会長に詳しくお話を伺いました。

風力発電事業の目的や規模について

田上 ここ数年、遠くの山の上で回る風車や郊外での大規模な太陽光発電所をよく見かけるようになりました。

地域共生・地域裨益型再エネ事業になるために

亀岡 東日本大震災以来、わが国では国民全般のエネルギー供給に関する懸念や問題意識がこれまでに広く広がり、エネルギー自給率の向上や地球環境問題の改善に資する再生可能エネルギーには大きな期待が寄せられています。

環境アセスメントや独自の調査について

田上 「地域共生・地域裨益型再エネ事業」を打ち出されていますが、これはどういったものですか。

亀岡 地元企業の協力を得ながら開発を行います。具体的には、発電所の施工・稼働にあたっての地元企業への発注、地元雇用創出、林道整備等を通じて地元振興に資する裨益型事業となることを目指しています。



薩摩事業所を設置して地元スタッフ6名が常駐

田上 地域と密着して事業を進めていかれるんですね。

亀岡 地域に根ざし、地元の声をしっかりと聞くことが大切です。地域の方たちと向き合うため、弊社では責任者として足立という担当が3年前の令和元年9月から鹿児島に常駐しており、今ではすっかり鹿児島の人間として地域に馴染んで方々を駆け回っています。

社会的な意義、地域との関わり、環境への影響など、事業全般についてお聞きします。



田上 真澄さん
フリーアナウンサー
福岡県北九州市生まれ
鹿児島県のテレビやラジオのローカルワイド番組のレポーターなどで幅広く活躍中

するなど、さらなる影響の低減に努めてまいります。

田上 甲突川へ続く鹿児島市民の水源地、甲突池への影響はないのですか？

亀岡 ご懸念されている甲突池などの利水に関しては、環境影響評価とは別に利水調査を行っています。地区住民へのアンケート調査や現地調査、流域解析、有識者ヒアリングを実施しており、有識者からは「甲突池の集水域においてもあくまで1割にも満たない部分的な変更であり、影響が出る可能性は非常に低い」とのコメントもいただいております。今後、ボーリング調査を実施するなど、地下水脈や水源へ影響を与えることがないよう考慮してまいります。

優れた景観を含む自然への影響について

田上 豊かな自然の中で登山やキャンプも楽しめる、郡山地区の八重山とその周辺の景観は維持されるのですか？

亀岡 環境影響評価法や県のガイドラインに基づき、適切に対応を行ってまいります。本事業では、風車の高さや設置基数を減らすなどの対応に加え、今後風車を環境融和色に塗装

騒音や低周波が及ぼす影響について

田上 計画地の1キロ圏内に家屋が存在します。風車の騒音や低周波への心配はありませんか？

地域との共生・調和を図り、次世代に向けた風力発電事業を進めます。

亀岡 信行
日本風力エネルギー(株) 取締役会長

環境省の指針値を下回る調査結果が出ています。

亀岡 騒音や低周波音に関しては、環境アセスメントにおいて平成29年に環境省が策定した指針やマニュアルに基づき現地調査・予測評価を行い、すべての地点で「指針値」を下回っています。

水害や土砂災害への対策について

田上 事業エリアである八重山の周辺には集落や住居、八重の棚田などもあり、土砂災害や残土の処理方法に対して懸念が起きます。昨年、大きな災害を引き起こした熱海の盛土のようなことは絶対にあってはなりません。現状を把握した防災対策について、具体的にお聞かせください。

厳しい技術基準に基づき、安全性を担保しています。

亀岡 防災対策としては、鹿児島県の基準に基づき10年確

私たちが目指しているのは、「地域と、ともにつくる」風力発電事業です。

薩摩事業所 担当者

足立 邦平

趣味はトレイルランニング。3年前に鹿児島へ移住。この秋、焼酎検定を取得。妻の実家は出水。



力丸 育未

実家は郡山。青年海外協力隊として途上国支援を経験。叔父はスター・錦野。

黒岩 晃人

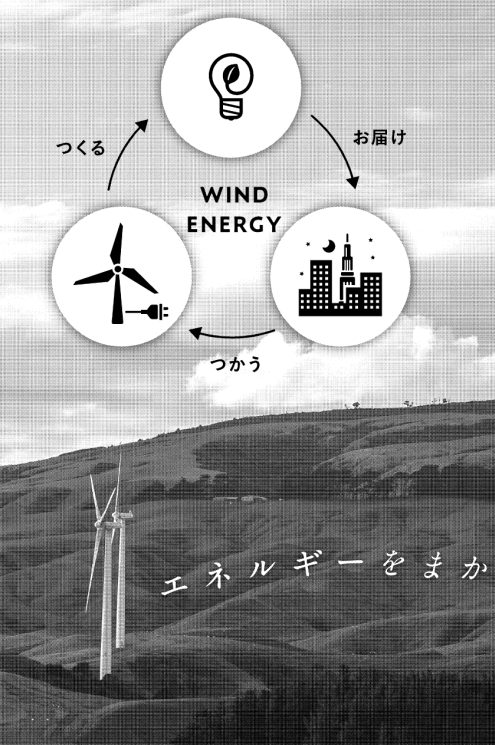
鹿児島市出身。野球に青春をささげる。週末は社会人野球チームの運営に尽力。



進もう。風を力に。

山登りをした時、頂上で感じた心地よい風。それ、エネルギーに変えられるかも。自然の風を電気に変えること、それは、環境への負担を最小限に抑えて暮らすこと。限りなく利用できるエネルギーを次の世代へ引き継いでいこう。わたしたちのそばには、かけがえのない資源が眠っている。みなさまにとって、風力がもっと身近なエネルギーになりますように。

エネルギーをまかなえる地域へ



日本風力エネルギー株式会社(Vena Energyグループ) 薩摩事業所 〒896-0046 鹿児島県いちき串木野市西薩町17-41

お問い合わせ先 TEL. 0996-26-1411 FAX. 0996-26-1412